

新型コロナウイルス感染症予防の為、引き続き下記の対応を取らせて頂いております。皆様には多大なご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力を願い申し上げます。

記

① サービス利用前に 37.5 度以上の発熱や呼吸器症状がある場合は、利用を見合させて頂きます。この場合、解熱後 48 時間経過して体調に異常が無ければ再利用が可能です。

② 入所利用者様のご面会はオンライン面会のみと致します。人数は 3 名までとし、必ずマスクの着用をお願いします。また体調不良の場合はお控え頂けます様、お願いします。

③ 入所利用者様の外出・外泊は原則不可です。但し、当施設の医師が受診が必要と判断した場合の外出や在宅復帰前提の外泊は可能です。

④ サービス利用中はマスクの着用をお願いします。

⑤ 家族様による洗濯物の回収、お届けは可能です。取り次ぎは午前 8 時 30 分から午後 4 時 30 分までの間とさせて頂きます。

⑥ 入所利用者様のワクチン接種は当施設で行う予定ですが、滑川町の感染者数が少ない事からワクチンが遅延しております。その為、実施は最短で 8 月を予定しております。

※上記は今後の状況の変化に応じて変更する可能性があります。予めご了承ください。

■埼玉県の取り組みへの協力

埼玉県の新型コロナウイルス感染拡大防止対策の取り組みとして、高齢者施設の職員を対象とした PCR 検査を実施しています。高齢者は感染してしまうと重篤化してしまう恐れがある為、当施設はその取り組みに協力し、これまで 5 回 PCR 検査を実施し、全て陰性でした。埼玉県には今後も引き続き協力して参ります。

■スタッフブログ

広報誌だけではお伝えする事が出来ない施設での取り組みや、日々の行事等を載せております。是非一度下記 URL にてご覧下さい。

<https://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>

編集後記

新型コロナワクチンについては市町村によって接種が進んでいる地域とまだこれからというところなど様々です。早く全ての年代が接種出来ると良いですね。

編集責任者 金子 弘幸



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 873
TEL0493-56-6123 FAX0493-56-6124



いづみのホームページ <https://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>



「あなたの笑顔に会いたくて」

通所課 係長
高橋 真由美

皆様には新型コロナウイルス感染症対策に日々よりご協力頂き感謝申し上げます。昨年 3 月に緊急事態宣言が発令された際には、利用者様に検温、体調の確認、マスク着用のお願いをさせて頂きました。感染者を出さない為に皆様がご協力下さることを心強く思いました。お願い事が増えたにもかかわらず、営業を止めなかつたことに沢山の労いのお言葉を頂戴し、大変嬉しく思います。独居生活の利用者様から「離れて暮らす家族が毎朝心配して電話をくれるようになったよ。」と笑顔でお話し下さることもございます。コロナ禍の中で以前にも増して家族間コミュニケーションが増えたことを伺い知ることが出来ました。

感染症対策は密閉、密集、密接の 3 密を避ける事が有効とされています。当施設でも毎年恒例の夏祭りや長寿を祝う会が中止や規模縮小となりました。食事や入浴中の会話も控えて頂いております。ですが感染を恐れて何もしないということではなく、収穫した梅でジュース作りをしたり、中庭の畑で育てたじゃがいもを調理し召し上がって頂いたり、菖蒲湯に入浴して頂いたりと季節感を味わって頂くことも出来ました。利用者様からお話を伺い個別の趣味活動も提供させて頂いています。出来る事を見つける職員も一緒に楽しむ事が大切だと思っております。どんな状況にあっても物事を前向きに捉え、色々なことを提供していきたいと思います。そしてそれが利用者様の笑顔に繋がるとなったら、何と素晴らしいことでしょう。利用者様が住み慣れた我が家での暮らしを一日でも長く続けられる様に、心を込めて支援させて頂きます。

私事ですが、このコロナ禍の中で闘病中の義兄を見送り、直後に初孫の誕生をされました。別れは辛い事でしたが、病院から自宅に帰れたのでお見舞いにも行くことが出来ました。病院に入院していた為に看取りが出来なかったという話も聞いていましたので、きちんとお別れが出来たことは不幸中の幸いでした。孫の誕生は産院で産声を待つというようなことは出来ず、何とも心許ない思いをしました。孫との初対面はオンラインでしたが、これも時代を反映する思い出話になることでしょう。この様に色々な事がこれまでとは違ってきていました。

埼玉県でもコロナワクチン接種が進められています。滑川町はワクチンの供給不足により入所利用者様のワクチン接種が 8 月以降の予定と伺っています。平穏な暮らしは万人の願いであり、一刻も早い終息を願うばかりです。当施設では引き続き感染対策を徹底し、今後も在宅生活支援施設として通所リハビリテーションの役割をしっかりと果たしていきたいと思います。

すべては利用者様の為に…。

施設の行事

「いづみ Café」をオープンして皆様をおもてなし



皆様にホッと一息出来る「いづみ Café」を開きました。BGMを流しスタッフは正装をして香り高い一杯を提供しました。利用者様も自然と笑顔になりました。当日はプリンアラモードを作り、デザートとコーヒーのセットでおもてなしをしました。皆様から「美味しいね」と好評でした。

いづみ名物「サーターアンダギー」を作りました

毎年 11 月に開催される滑川まつりに沖縄のお菓子であるサーターアンダギーを販売しています。しかし最近は新型コロナウイルスの影響によりお祭りが中止となっています。そこでいづみ名物となるいるサーターアンダギーを皆様と一緒に作りました。甘さは控えめで外はサクッ、中はふんわりしていて大成功となりました。



通所課 「梅ジュース作り」



敷地内に梅の木があります。その梅を収穫し、利用者様と梅ジュースを作りました。梅はへたを取り氷砂糖と炭酸水で煮込んで完成です。冷ました後、水で薄めて頂きます。簡単に出来るので家に帰ってご家族に作ったという利用者様もいらっしゃいました。梅ジュースは夏バテ防止にもなります。皆様も梅ジュースを飲んで暑い夏を乗り切りましょう！

中庭でジャガイモを栽培しました

今年の 3 月中庭の畑を利用者の皆様と一緒に耕してジャガイモを植えました。見事大きく育ち 6 月に収穫しました。採れたてのジャガイモを粉吹き芋にしたり、塩ゆでにして皆で楽しんでいます。丹精込めた野菜の味は別格です！



発見！中庭の柿の木に、ついに実がなりました！！まだ青く小さいですが、これから成長が楽しみです。⇒⇒



永年勤続表彰・介護百人一首秀歌表彰を受けました

6 月 10 日に埼玉県介護老人保健施設協会の定期総会が大宮のソニックシティで開催されました。その中で永年勤続表彰及び介護百人一首秀歌表彰があり、当施設からは 5 名が受賞しました。(詳細は右記を参照ください)

皆さんおめでとうございました。



★=永年勤続表彰

左から ★道尚子さん（看護師）

◎小室よし子さん（支援相談員）

◎月岡雄一さん（入所課主任 介護福祉士）

◎=介護百人一首秀歌表彰

◎水野香織さん（介護職）

★丸本春代さん（支援相談員）

リハビリ通信



この度、階段昇降のリハビリ機器を導入しました。階段の昇り降りは在宅復帰を目指すうえで課題となる場面が多く見受けられます。

段差の高さ、段数、手すりの高さや位置などそれぞれの自宅環境に応じた内容で訓練を実施しております。